

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	<p>「市民と企業によるまちづくり」 ～協働による地域の課題解決・魅力向上のための施設（ハード）整備・運営についての提案～</p>
提案の募集対象 （テーマに関連する 事業等の概要）	<p>横浜市都市整備局が行う「ヨコハマ市民まち普請事業」では、市民グループからまちづくりに係る施設（ハード）整備の提案を募集し、コンテスト方式で選考された提案に対し市民グループが整備するための助成金（上限 500 万円）を交付して、市民主体のまちづくりを推進しています。</p> <p>この事業によるハード整備では、市民グループが施設整備を企画し、自らも労力を提供して施設を整備することで、地域に必要な施設が愛着を持って大切に活用され、企画、提案、整備、活用の機会を通じて地域コミュニティが活性化していくことが特長になっています。</p> <p>複雑化、多様化する市民ニーズに対応するため、<u>横浜市民の皆様</u>の「市民力」と企業の皆様の「地域貢献意欲」を重なり合わせ、<u>横浜のまちづくりの新たな展開を図りたい</u>と考えています。</p> <p>※「ヨコハマ市民まち普請事業」についての詳細は、別紙の資料またはウェブサイトをご覧ください。</p> <p>URL：http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chiikimachi/machibushin/</p>
提案を募集する 背景・課題	<p>【背景】</p> <p>「ヨコハマ市民まち普請事業」は、平成 26 年度まで市民による企画段階に企業が関わることはありませんでしたが、27 年度から市民グループが企業にまちづくり提案を説明し、共感した企業が市民グループと協力してまちづくりに取り組む機会となる「企業マッチング会」を開始しました。初回にもかかわらず、18 社に参加いただき、17 社から協力意向が示されるなど、横浜の企業の高い地域貢献意欲が改めて示されました。</p> <p>ハードの設計や整備への協力、整備後の運営へのアドバイスなど、これまで市民だけでは実現できなかったことが、対話によって生み出される機会となり、共有できる価値が創造され始めています。</p> <p>都市整備局では、このように「市民（市民、企業市民）とともに創り育てるまちづくり」に取り組んでいます。一層の発展を図りたいと考えています。</p> <p>【課題】</p> <p>①整備について</p> <p>市民グループが施設整備をする際、<u>多様な企業から技術面のアドバイスや協力を得て、建築・土木・造園・内装等の工事を行うことにより、市民グループによるハード整備の質を一層向上していくこと。</u></p> <p>②整備後の運営について</p> <p>地域交流拠点、コミュニティカフェなどにおいて、<u>整備後の運営段階での協働による事業展開など、市民と企業の相互価値向上への取組を推進すること。</u></p> <p>③「ヨコハマ市民まち普請事業」自体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フェイスブック」、「ユーチューブ」、「ウェブサイト」、「横浜市広報番組」、企業の協力による「企業情報誌」などによる広報に取り組んでいますが、<u>当事業を市民が気軽に利用できるよう事業認知度の向上を図ること。</u> ・民・官の協働事業として、事業自体を一層市民に近い環境で実施するため、<u>交付する助成金の財源の多様化を図ること。</u>
募集対象 ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	<p>■ 公民連携の提案及び連携事業者の募集 ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。</p> <p>□ 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する</p>

	る公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
横浜市が希望する提案について	<p>①整備について より多様な企業が協働の視点から、整備に協力していただくこと</p> <p>②整備後の運営について より多様な企業との協働による事業展開の推進に係ること</p> <p>③「ヨコハマ市民まち普請事業」自体について ・市民が気軽に利用できるよう、事業認知度の向上に係ること ・市民グループへ 交付する助成金の財源の多様化に係ること</p>
想定する提案の例	<p>①整備について ・企画、設計、施工などの各段階で、企業のノウハウを活かして市民グループとともにまちづくりに取り組んでいただくこと。</p> <p>②整備後の運営について 企業のノウハウを活かして市民グループとともに、地域の活性化に資するイベント等を開催していただくこと。</p> <p>③「ヨコハマ市民まち普請事業」自体について ・事業認知度の向上を図るための、広報に係る企画を提案していただくこと。または、広報機会を提供していただくこと。 ・「企業マッチング会」が、市民グループと企業との連携のきっかけの場になるよう、一層効果的な開催に関する企画を提案していただくこと。 ・コンテスト会場、企業マッチング会場などを開催する際の会場を提供していただくこと。 ・用途を指定して資金を提供（寄附）していただくこと。</p>

■提案にあたっての条件

募集期間	随時
実施予定時期	随時
提案の形式	様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で選定します	<p>■特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない）</p> <p><input type="checkbox"/> 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む）</p> <p><input type="checkbox"/> 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>
横浜市から提供できるメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献意欲の高い企業に、やりがいのある「まちづくりへの取組」の機会を提供します。 ・市民との協働により、企業への信頼や理解が得られ、市場調査では得られない市民の生の声、細かなニーズを把握する絶好の機会になります。 ・地域密着の活動に参加することで、地域の課題解決と企業活動を結び付け、新たな事業領域を開拓できる人材育成の機会になります。 ・「まち普請事業」に関する広報媒体（ウェブサイト、広報誌等）で協力企業を紹介します。
横浜市の予算措置の可能性	今回の提案募集に対し、企業から寄せられた提案に対して、予算措置をすることはありません。
その他の留意点	特になし
提案のお申込み先	横浜市 政策局 共創推進課 横浜市中区港町1-1 市庁舎7階 TEL 045-671-4397 FAX 045-664-3501 E-mail ss-kyoso@city.yokohama.jp
内容についてのお問い合わせ先 (事業所管部署)	横浜市 都市整備局 地域まちづくり課 横浜市中区港町1-1 市庁舎6階 TEL 045-671-2679 FAX 045-663-8641 E-mail tb-seibiteian@city.yokohama.jp